

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

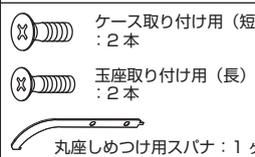
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

同梱されているもの

握り玉錠	取付ねじ・工具	交換要領書
HH-J-0425U9  錠 1式 子カギ: 3本	 ケース取り付け用(短): 2本 玉座取り付け用(長): 2本 丸座しめつけ用スパナ: 1ヶ	 本書 1枚

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー
 + 1本

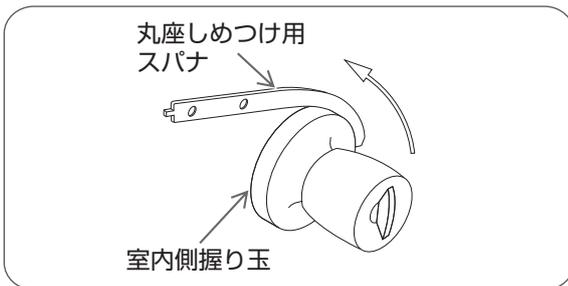
※部品が全てそろっていることを確認してください。

部品の取りはずし方

お願い

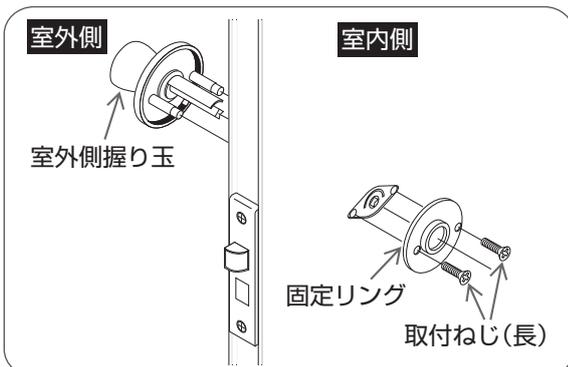
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

1 室内側握り玉の取りはずし



室内側握り玉の丸座の穴に丸座しめつけ用スパナを引っかけて反時計回りにまわしてゆるめ、室内側握り玉をはずす。

2 固定リング・室外側握り玉の取りはずし



室内側よりプラスドライバーで固定リングの取付ねじをはずし、固定リングおよび室外側握り玉をはずす。
※取付ねじをはずすと、室外側握り玉がはずれます。
落下にご注意ください。

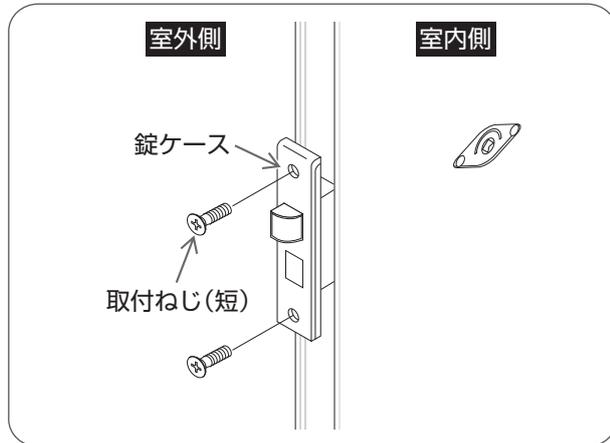
※部品の取り付け方は2・3ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをすることがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

3 錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースをはずす。

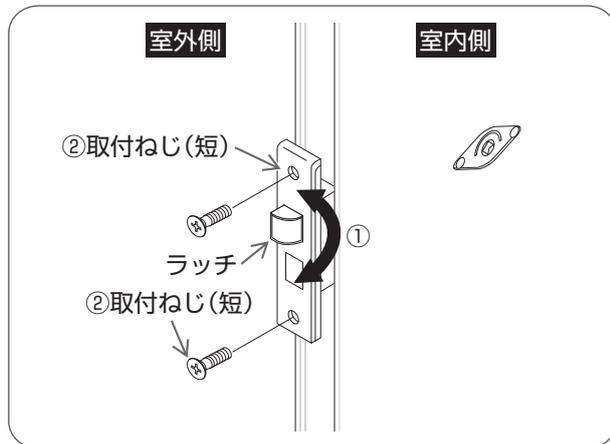
※部品の取り付け方は2・3ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをすることがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

1 錠ケースの取り付け

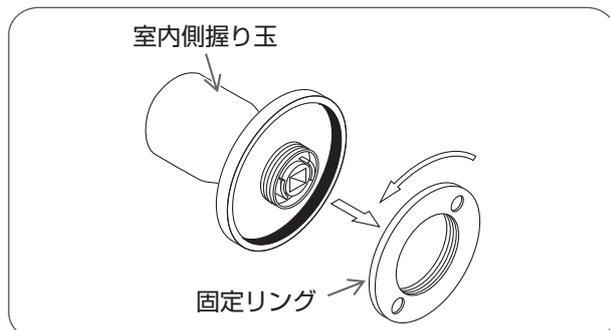


① ドアの勝手に合わせ、錠ケースを上下回転させる。
※ラッチの背(フラットの面)を室外側に向けてください。
※本図は左勝手に説明しています。



② 錠ケースを取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじ(短)をしめる。

2 固定リングの取りはずし



交換用室内側握り玉に取り付けられている固定リングを反時計方向にまわしてはずす。

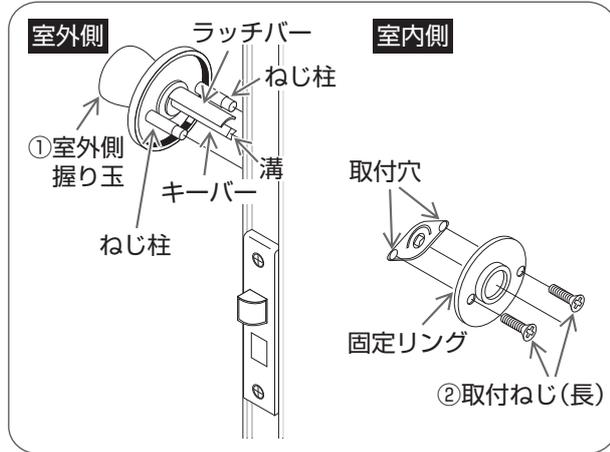
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

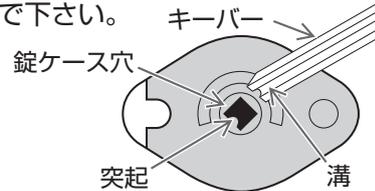
お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業を行ってください。

3 固定リング・室外側握り玉の取り付け

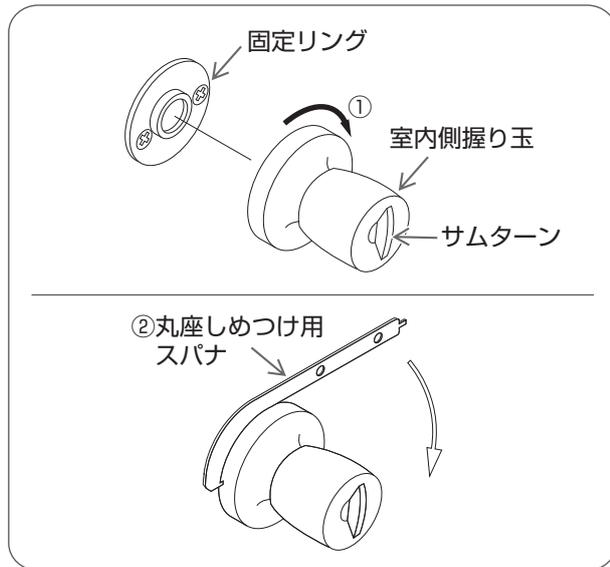


- ① 室外側より室外側握り玉(ねじ柱付)を錠ケースに差し込む。
※ねじ柱、ラッチバー、キーバーを錠ケースの各穴に差し込んで下さい。
※キーバーの溝と錠ケース穴の突起を合わせて、差し込んで下さい。

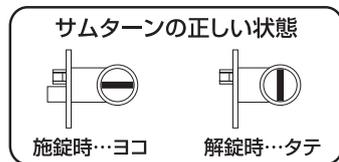


- ② 室内側より室内側握り玉から取りはずした固定リングを錠ケースの取付穴に合わせ、プラスドライバーで取付ねじ(長)をしめる。

4 室内側握り玉の取り付け



- ① 室内側より室内側握り玉のサムターンの向きを施錠状態に合わせ(下図参照)、丸座を時計方向にまわして固定リングに取り付ける。



- ② 室内側握り玉の丸座に丸座しめつけ用スパナを引っかけて時計回しにまわしてしめる。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ④ 握り玉を回してドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ⑤ サムターンを動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合があります。その場合は取付ねじのしめつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。